

# オスキー研修が終了しました！

10月12日（水）～14日（金）に、新卒者62名を対象にオスキー研修を実施しました。

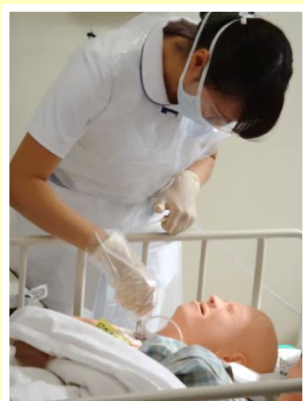
研修者は事例をもとに口鼻腔吸引と気管吸引を実践しました。

研修者は、看護技術マニュアルや看護教育DVDを活用して手順や知識を確認したり、モデルを使用して練習するなどの事前学習を行い、看護技術の向上を目指し主体的に取り組む姿勢が見られました。研修後は「自分の技術の改善点が明確になった」「看護技術の手順や根拠に関する知識を深めることができた」という感想が聞かれました。今回の研修を通して学んだ事や気付いた事を振り返り、安全・安楽な技術の実践に活かせることを期待しています。



看護職キャリア支援教育担当者が看護技術の評価を行いました。

演習は患者のもとへ訪室する場面から始まります。



患者への声掛けや説明を丁寧に行っていました。実際に演習を行うことで、事前学習のみでは気付かなかった事（手技の手順、感染予防対策、スムーズに実施するための物品の準備など）に気付くことができていました。

実際に気管カニューレやカフ圧計に触れて、その構造や使用方法を確認して一緒に振り返っています。



吸引カテーテルを挿入する長さを指導者と一緒に確認しています。



演習が終了した後は、評価表に沿って指導者と一緒に振り返りを行いました。自己の到達度と課題が明確になり、技術に関する知識や根拠の理解につながっていました。研修での学びや気づきを実践に活用する方法も考えることができていました。



看護技術マニュアルやDVDなどを活用し、安全・安楽な技術の習得を目指しましょう。新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当